

過去と未来がひびきあう

—ようこそ、エコミューズへ。

www.aozora.or.jp/ecomuse

あおぞら
財団付属

西淀川・公害と環境資料館
エコミューズ

エコミューズ 利用者の声

ひろたか
芳賀 普隆さん

5月25日
SD人材育成研修プログラム
で国道43号沿道で説明



京都大学経済学研究科東アジア経済研究センターと中国国際青年交流センター、中国国家発展改革委員会研修センターが共催している日中共同持続可能な発展(SD)人材育成事業短期研修プログラムにおいて、昨年5月、11月、そして今年5月と3回の研修をあおぞら財団に受け入れていただいております。

中国の国及び地方における環境政策、計画、実務に携わる行政や企業の若手幹部である研修生に感想をお聴きすると、西淀川公害患者会の方や森脇財団理事のお話、西淀川周辺のフィールドワーク等を通して、日本で実際に公害が発生し、被害に遭われた方が大勢おられたことに驚愕するといえます。また、被害住民が西淀川公害訴訟において長年闘ってきたこと、地域再生の取り組みを民間団体として長年地道に続けてきたことに対する感嘆と敬意を表したい、そしてあおぞら財団を自国に紹介したいと口々におっしゃっておりました。

あおぞら財団における研修は、実際に現場に足を踏み入れ、語り部の方の生の声で実体験を聴き、研修参加者間の意見交流を通じて、日本の公害経験と教訓をともに学び、考え、認識を参加者間で共有する貴重な機会となっております。今後、あおぞら財団の様々な活動が、多くの人々にとって環境公害問題を学び、考え、交流・活動する場として、全世界の人々に紹介され、連携の輪が広がることを期待します。

最後に、本研修事業にご理解、ご協力いただいている西淀川公害患者と家族の会、あおぞら財団、エコミューズ、関係者の方々に対し、心よりお礼申し上げます。

(京都大学大学院経済学研究科非常勤講師 芳賀 普隆)

岩橋浪枝(映画「娘たちは風にむかって」のモデル)資料の聞き取り

2012年6月8日 天野憲一郎

「資料館だより No.36」に「映像に映し出された1970年ごろの西淀川」として、「明日をよぶ娘たち」の本と「娘たちは風にむかって」の映画を紹介し



アルバムを見ながら聞き取り
(真ん中が岩橋氏)

ました。そこには1965年の西淀川区姫島にあった「大建被服」という縫製工場での企業閉鎖による従業員解雇をめぐる実際の姿が描かれています。

当時は日本経済の高度成長期であり、企業が業績を伸ばすために自社の労働者を解雇したり工場の再編が珍しくない時代でした。大阪や東京をはじめ全国で、解雇された労働者が工場や企業を占拠して裁判闘争に立ち上がっている事例が多くありました。「東京争議団物語」や「関西争議団物語」の本が出版され、「ドレイ工場」という映画が自主制作されている時代です。

岩橋浪枝さんから資料館へ提供していただいた345点の資料の中で、写真の人物や背景が詳しくわかれば、この資料の



姫島病院15周年記念での「大建・淀川製綱青年部共催・安来節踊り」の記念写真

意味がより鮮明になるため、資料提供者の岩橋浪枝さんに財団へ来ていただきました。岩橋さんは当時、大建被服の従業員でした。

女性だけで占拠している淀川工場へ、淀川製綱の青年が泊まり込みで支援に来たり、泊まりにきて、朝ごはんを一緒に食べたり、全国の労働争議や闘争の支援をしている「統一劇場」という劇団員の宿泊場所になっていたことがわかりました。「300日突破記念決起集会」や「新年旗開き」など、節目において地域ぐるみで組合をはげます集いが記録されています。

西淀川公害裁判が勝利できた背景には、西淀川区にはこのような分厚い住民の運動の蓄積があったことが見事に活写された記録資料と言えるでしょう。

所蔵資料紹介

1枚のチラシ「あなたの街に届きます」

青い空と白い紙飛行機、丸ゴシック体の赤字で「あなたの街に届きます」、真ん中に少し小さめの文字で「共感ひろば」府下縦断・コンサート&トーク、手渡したいのは青い空と書かれたチラシがあります。

裏面には「合同製綱・夜中に操業・昼間の6倍の粉じん」、「古河機械金属・放射性物質野づみ・住民調査を拒否」の5行程度の短いコメントに加え、1990年10月4日の八尾・プリズムホールに始まり、11月14日の大阪市・朝日生命ホールに至る「共感ひろば」の日程が印刷されています。

西淀川公害裁判は1978年4月に第1次提訴をして、その結審まで12年もかかっています。「共感ひろば」として91

年2月まで12箇所でもミニ集会を続け、71万8000名もの署名が集まるまでに広範な人々の支持を集めました。府民の共感と支持を抜きに、20年間も続いた裁判の勝利は難しかったでしょう。

国民的な「共感の獲得」は、現代の「原発問題」にも通じることだと思えます。(天野憲一郎)



共感ひろばのチラシ



こんにちは新着図書です

マンガで読むアスベスト問題 『石の綿』 かもがわ出版、2012年
 監修 松田毅・竹宮恵子
 制作 神戸大学人文学研究科倫理創生プロジェクト・京都精華大学機能マンガ研究プロジェクト

アスベストの別名は「石綿」です。小学校の理科の実験で使っていた石綿網といえば「あれかあ」とわかる人も多いはず。石綿は耐久性、耐熱性などに優れた上に安く、「奇跡の鉱物」として重宝されました。建設資材、電気製品、自動車、家庭用品等、様々な用途に広く使用されてきましたが、繊維状になった石綿を長期間大量に吸入すると、肺癌や中皮腫を引き起こします。アスベストが公害としてクローズアップされたのが2005年の尼崎のクボタショックですが、この『石の綿』は、アスベストの被害の悲惨さ、公害としての憤りが分かりやすく描かれています。尼崎・泉南の地域からのアプローチや、高校生や大学生がアスベスト問題に触れてどう感じたかなど、多彩な視点からのマンガが集められています。特に被害の話は被害者の無念さが伝わってくる力作です。(林)

編集後記

「大阪ミュージアム構想」に、このたび「エコミューズ」と「大野川緑陰道路」が登録されました。これはまち全体がミュージアムということで、いわゆる「ミュージアム(博物館)」だけではなく、自然や特産物など、まちの魅力を登録し、情報発信していこうという大阪府の事業です。
<http://www.osaka-museum.jp/index.html>
 スマホを使ってまちあるきできるシステムなどもありますので、ぜひ、ご活用ください。(Y)

資料館だより No.41
 2012年7月号(季刊1日、年4回発行)

発行所 あおぞら財団付属
 西淀川・公害と環境資料館
 (エコミューズ)
 連絡先 大阪市西淀川区千舟1-1-1
 あおぞらビル5F(〒555-0013)
 TEL:06-6475-8885 FAX:06-6478-5885
 Email: webmaster@aozora.or.jp
<http://www.aozora.or.jp/ecomuse/>

お知らせ

エコミューズ活動資金

【ハモン基金】

寄付協力をお願い

エコミューズを支えてください。あなたの寄付金は青空へとつながります。

●寄付の方法

郵便局からお振込いただけます。また、直接エコミューズにお越しいただいても結構です。

【口座番号】

00960191
 124893

【加入者名】あおぞら財団
 ※通信欄に「ハモン基金への寄付」とご記入ください。一口の金額はお選びください。

ボランティア隊
 「エコミューズ」募集
 あなたも「エコミューズ」に入っちゃおう！資料整理や展示、イベントの手伝いなど、活躍の場がいっぱいです。交通費●実費支給(上限2000円)
 どうぞお気軽にお問い合わせください。



エコミューズは
 青空を未来へ手渡す記録のひろば

西淀川の公害・環境、地域に関する記録資料や環境学習の教材・ビデオなどが豊富です。ぜひご利用ください
 開館●月曜日、金曜日(祝日は休み)
 10:00AM~5:00PM [要予約]
 利用●図書の貸し出し期限は2週間
 書庫資料や裁判記録は閲覧のみ